

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2024年5月吉日発行

第22号

大規模競技会に向けて

専務理事 木内 俊秀

春先の寒気のいたずらか、今年の千葉県記録会は満開の桜の下で開催されました。皆様におかれましては新たな年度を迎え、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年5月のコロナ感染症の5類移行をうけ、競技会開催にも特別な制限が不要となり、本協会もコロナ禍以前と同様に2024年のシーズンを迎えました。2023年度本県陸上競技は特別国民体育大会鹿児島大会で天皇杯7位、皇后杯9位の成績を残しました。また、東日本女子駅伝4位、都道府県対抗駅伝は女子4位、男子3位とあと一歩のところまで優勝を逃しましたが、安定して上位入賞を果たしており次回大会に向け期待が持てます。全国高等学校総合体育大会、全日本中学校陸上競技選手権大会においても多くのジュニアアスリートが活躍し成果を挙げております。さらに本年はパリオリンピックの開催年であり、また来年度には世界陸上東京大会が予定されておりますが、本県縁の競技者が一人でも多く出場の機会を得て活躍することを期待しております。



さて、本年度「第98回関東陸上競技選手権大会」並びに「ちばアクアラインマラソン2024」と二つの大規模競技会の開催が予定されており、ともに昨年度から準備を進めております。千葉県総合スポーツセンター第2陸上競技場の改修工事も完了し、必要な競技用具も更新されるなど、ハード面での関東選手権大会の準備は整いつつあります。関東各県から精鋭をむかえ、ハイレベルな競技会が開催されることを期待しております。また、アクアラインマラソンは2年ぶりの開催となるため、コース状況は言うまでもなく運営方法を総点検し実施に臨みたいと思います。アクアラインの美しい風景とともにランナーの記憶に残る大会運営を目指します。いずれの競技会も運営に関わる多くの競技役員の皆様のご協力をいたきたく、お力をお貸しくださるようお願いいたします。

昨年度に続き本年9月からは陸上競技場の改修工事が始まります。次年度以降には大型映像装置の設置も予定されており、競技環境の改善が望めます。より良い環境の下、充実した競技会運営、競技力向上やすそ野を広げる各種行事の開催など、本年も協会運営に尽力してまいります。本県陸上競技の発展及び本協会の運営に引き続きご理解御支援くださるようよろしくお願いいたします。

陸上部紹介

「千葉市立若松中学校」

本校は千葉市若葉区にある生徒数約 600 人の中学校です。陸上競技部は男女合わせて 60 人の部員が在籍し、平日は週 4 日、土日はどちらか 1 日で活動しています。

私たちは関東大会、全国大会、ジュニアオリンピックの出場・優勝を目標に、切磋琢磨し活動を頑張っています。引退するとき、「この陸上競技部に所属して本当に良かった」と、生涯の「幸せ」を部員全員が感じられるようなチームを目指しています。

個々を鍛え上げ、自身を高めていくことはもちろん、学年間・男女間・種目間の溝なく『チームで』『総合力で』成長していくことをテーマとしています。自分自身と向き合えなければ高みを目指せない陸上競技というスポーツにおいて、何かあれば助け合える、相談できる、応援しあえる我々の環境は大きな強みだと考えています。また、顧問の先生や先輩たちなど経験が豊富な人たちの専門的知識を活用し、自分がどの種目に適性があるのかを早期に見極め、ポテンシャルを開花し続け自信をつけていくことも大切だと考えています。

令和 5 年度は、関東・全国大会の出場・入賞者が本校歴代最高人数、また千葉県総合体育大会・千葉県新人体育大会それぞれで総合優勝（2 連覇）を達成、男子・女子で県総体駅伝・県新人駅伝に出場



するなど、部員たちの努力と笑顔あふれる 1 年でした。

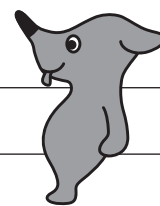
「陸上が好きだから、気付いたら夢中で練習をしてしまっている」そんな素晴らしい雰囲気漂う若松中学校陸上競技部を、これからもぜひ応援よろしくお願いします。

「敬愛学園高等学校」

本校は西郷隆盛公の座右の銘である「敬天愛人」を建学の精神に掲げて 1953 年に創立され、今年で 71 年目となります。そして陸上競技部もその精神を受け継ぎ、部員の多くは競技未経験者や、中学時代までに県大会入賞はもちろん、そもそも県大会出場経験がない者ばかりですが、お互いに尊重し合って切磋琢磨し、「より速く！！より高く！！より遠くへ！！そして全員自己新で頂点へ！！」をモットーに、全員の向上を目指して練習に励んでいます。また、限られた時間や場所の中で工夫をしながら、短時間集中の練習で効果を上げています。その結果、近年は県大会で毎年入賞者を輩出し続けることができ、関東大会に連続出場中で、これまでインターハイでの 400m 優勝や走高跳決勝進出をはじめとして、国体や日本ジュニア・ユース選手権大会、U18 大会、U20 日本選手権大会クロスカントリー競走等の全国大会にも出場することができています。今後も競技力だけでなく、人間性の向上にも力を入れ、慢心せずに部員全員で精進していき、皆が陸上競技を愛しながら誇りをもって豊かな人生を送っていただけるような糧を得られるようにしていきたいと思っておりますので、応援をしていただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。



団体紹介 TEAM RUDOLF

こんにちは！TEAM RUDOLFです。

ルドルフは令和元年にスタートしたクラブチームです。現在は19歳から28歳、30名のメンバー（陸協登録者20名）で活動しています。成田市の総合型スポーツクラブが母体となり、市長はじめ多くの皆様にご支援・応援をいただいています。（ユニフォームにも市章を付け着用しています。）

社会人がメインのチームなので、揃っての練習ができるのは土日祝日のみ、成田市及び周辺の競技場等でコーチとともに汗を流しています。メンバーの中には記録や勝負にこだわらず、楽しく競技を続けたい者も練習に加わります。

チームアドバイザーとしてオリンピック・末續慎吾氏も名を連ねてくれました。競技面だけでなく社会人としての成長にも最強のアドバイザーです。

創立当初から毎年出場しているクラブ対抗では表彰台に上がることもできました。関東大会、実業団大会への出場も続き、社会人となってベスト記録を更新したメンバーもいます。

また、昨年は全日本実業団大会において4×400mリレーで優勝することができました。4名の選手とともに応援で残り、サポートしてくれたメンバーも我が事のように喜びを分かち合っている姿は何とも言えず、改めて纏まりのある良いチームになっていることに嬉しく思います。

それぞれの目標や目指すところは異なっても、陸上大好きで愉快的なメンバーが集まっています。

ルドルフはこれからも息の長いチームであり続けていこうと思います。



日本陸連公認ジュニアコーチ取得講習会開催報告

令和5年11月11日・12日、千葉県総合スポーツ公園トレーニング室にて・・・

日本陸上競技連盟では、文科省及びスポーツ省の打ち出した少子化、教職員数の減少、働き方改革に伴う対する対応と、日本陸連の2022年度ポリシー指針での「全ての指導者に有資格者に」を推進することを掲げてきました。

それを受け千葉県として初開催のJAAF公認ジュニアコーチ養成講習会を令和5年11月11日（土）・12日（日）の両日に千葉県総合スポーツセンター陸上競技場にて開催するに至りました。

予定定員50名が募集1日半で埋まりソールドアウトとなりました。

この募集と前後して講師の選定、依頼そして二日間の運営に当たるスタッフの人選も行われ、講師12名スタッフは11名に運営責任者：伊東謙二先生、講習会総括者：宮野 篤で千葉県での初開催の公認ジュニアコーチ講習会を開催するに至りました。

46名の受講となり2日間の座学と実技の養成講習も終え、最終のペーパーテストを行い合格点を全員が

超える事ができました。受講者のレベルも高かったと感じましたし、講習会自体の雰囲気は笑顔が溢れ、とても良かったと思えました。

今回の初めてのジュニアコーチ講習会の履歴を基礎に、この経験を積み上げて次年度へ続くより良い講習会が出来る様にしたい所存です。

令和6年度についても12月に講習会を予定しておりますので該当指導者は積極的な受講を推奨致します。

文責：普及育成部 指導者育成担当
JAAF エディケーター 宮野 篤





記録室 国際大会入賞者・国内大会優勝者・駅伝結果



第38回東日本女子駅伝競走大会 (R5.11.12 福島) 9区間

千葉県	4位入賞		2.20.05.				
1区	白石 由佳子	⑪	19.41.	6区	本澤 美桜	③	13.29.
2区	奥村 紗帆	②	13.03.	7区	齋藤 一乃	⑩	13.43.
3区	今西 紗世	⑧	10.06.	8区	天羽 海乃	③	9.39.
4区	椎名 美月	⑩	10.00.	9区	佐藤 奈々	⑤	33.36.
5区	風間 歩佳	③	16.48.				

第31回全国中学校駅伝大会 (R5.12.17 滋賀)

男子 6区間			
流山市立常盤松中学校	10位	59.02.	
1区	山上 永悟	⑳	9.43.
2区	小倉 晃明	⑱	9.49.
3区	小島 颯介	⑳	10.25.
4区	木村 洸太	⑤	9.30.
5区	山本 結仁	⑨	10.01.
6区	上杉 創亮	③	9.34.
女子 5区間			
市原市立有秋中学校	20位	45.15.	
1区	綿貫 音	⑳	11.03.
2区	山本 愛珠	⑱	7.23.
3区	露崎 花梨	⑪	7.33.
4区	島内 瑠花	⑰	7.47.
5区	六原優梨花	⑳	11.29.

全国高等学校駅伝競走大会 (R5.12.22 京都)

男子第74回 7区間			
八千代松陰高等学校	3位入賞	2.03.34.	
1区	鈴木 琉胤	⑦	29.19.
2区	上杉 敦史	⑧	8.25.
3区	小河原陽琉	⑪	24.20.
4区	山本 悠	⑦	23.48.
5区	高橋 凜琥	③	8.38.
6区	桶田 悠生	③	14.45.
7区	平山 權吏	①	14.19.
女子第35回 5区間			
船橋市立船橋高等学校	18位	1.10.48.	
1区	中後 心晴	⑳	20.46.
2区	飯田 和代	⑳	13.46.
3区	横山 桃花	⑧	10.00.
4区	藤重 桃子	⑳	9.58.
5区	石川 舞桜	⑪	16.18.

第42回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 (R6.1.14 京都) 9区間

千葉県	4位入賞		2.17.25.
1区	田浦英理歌	②	19.24.
2区	村上 美優	⑥	12.49.
3区	石川 未遥	⑱	9.55.
4区	鷺見 梓沙	②	13.04.
5区	山崎 りさ	①区間新	12.45.
6区	今西 紗世	⑬	13.32.
7区	石川 舞桜	⑦	12.50.
8区	伊藤 夏樹	⑳	10.30.
9区	上杉 真穂	⑧	32.36.

第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 (R6.1.21 広島) 7区間

千葉県	3位入賞		2.19.32.
1区	小河原陽琉	⑱	20.16.
2区	荒井 稜司	⑥	8.40.
3区	篠原倅太郎	④	23.38.
4区	山本 悠	⑥	14.39.
5区	鈴木 琉胤	②	24.54.
6区	宮川 大樹	③	8.49.
7区	伊豫田達弥	⑳	38.36.

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323

千葉県総合スポーツセンター

ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局 分室内

TEL: 043-252-7311 FAX: 043-252-7314

http://www.jaaf-chiba.jp/